

VILLAGE

VDデスク

デスクトップシェルフ

W1000●8VDS1Z・8VDS1Y

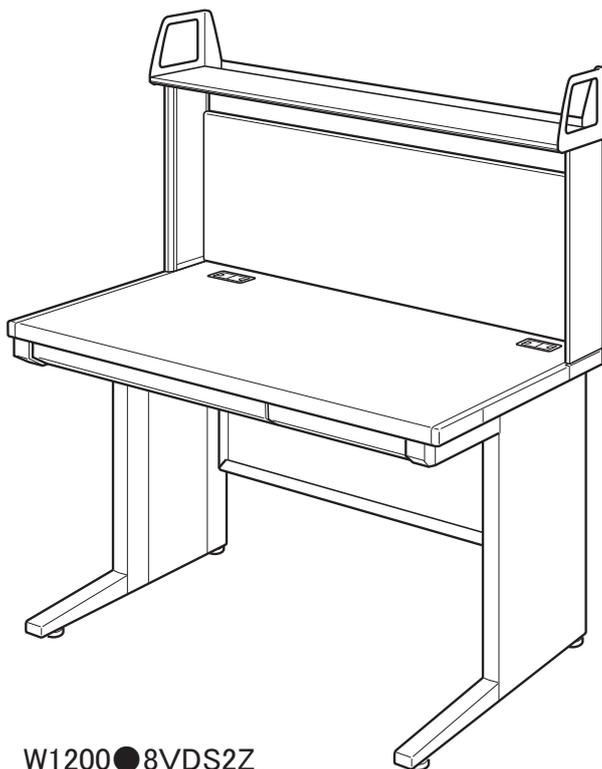
W1200●8VDS2Z・8VDS2Y

W1400●8VDS4Z・8VDS4Y

W1600●8VDS6Z・8VDS6Y

組立・取扱説明書

このたびはビラージュ製品をお買い上げいただき、まことにありがとうございます。
この説明書は正しく安全にお使いいただくためのガイドブックです。
この取扱説明書をよくお読みいただき、内容をご理解されたうえでご使用ください。
また常にこの説明書を手元におかれてご使用されることをお勧めします。



W1200●8VDS2Z

目次

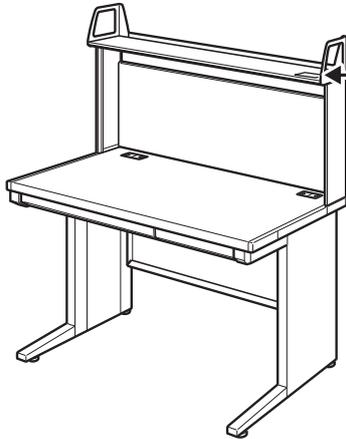
安全にお使いいただくために	2	組立方法	5~7
設置の際のお願い	3	主な材質と表面仕上げ	7
適切な換気の励行に関するお願い	3	保証の明細	8
末永くお使いいただくためのお願い	3	JOIFA標準使用期間	8
各部の名称	4	製品の廃棄について	8
部品明細	4		

安全にお使いいただくために（必ずお守りください）

⚠️ ご注意

⚠️ 注意

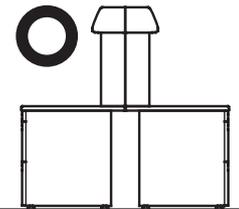
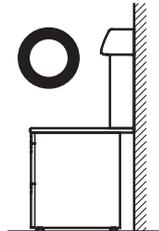
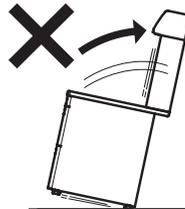
この表示は、誤った取扱いをすると、傷害を負う可能性や、物的損害の発生が想定される内容を表わしています。



⚠️ 使用上の注意

okamura

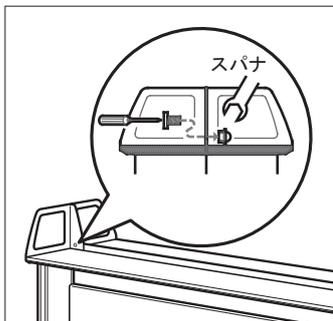
- デスクトップシェルフを設置する際は、壁面前か、背中合わせにしてご使用ください。片側のみで使用すると転倒する危険があります。



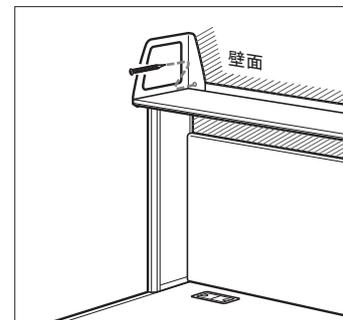
- 最大積載質量=30kg（等分布に積荷）

- デスクトップシェルフには使用者の生命、身体への危害や損害を防ぐ目的として上記注意ラベルが貼ってありますので、注意事項をお守りになってご使用ください。
- 注意ラベルは絶対に破ったり、傷つけたり字を消したり剥がしたりしないでください。

付属の連結ボルトはデスクトップシェルフを設置の際、転倒防止対策をより高める目的の部品です。以下のレイアウトの際にご使用いただくことをおすすめいたします。



- デスクトップシェルフを背中合わせにレイアウトする場合 付属のスパナでナット側を固定し、ドライバーで締め付けます。



- デスクトップシェルフを壁面前にレイアウトする場合 支柱部分の穴を利用して壁面固定をすることができます。（壁面固定用ボルトは付属していません）

乱暴な取扱いや用途以外のご使用は避けてください。破損や転倒によりケガをする恐れがあります。

- 踏み台として使用しないでください。
- 本製品にもたれたり、ぶらさがったり、腰掛けたりしないでください。

破損や転倒の恐れがありますので、以下のことがらにご注意ください。

- 棚板の端に重いものを載せないでください。
- ボルトやネジの緩みによるガタツキが生じたときは締め直してください。
- 部品が外れたまま使用しないでください。

レイアウトの変更等による運搬は次項のことを守ってください。

- 棚板の上のものは取り除いてください。
- 机の下側の安全なところを確認し、必ず2人以上で持って運んでください。

分解・修理はしないでください。

- お客様での分解・修理は大変危険ですので、必ず弊社販売窓口までご連絡ください。

改造はしないでください。

- お客様による改造は、故障の原因となります。また、その場合の責任は弊社として負いかねます。

最大積載質量を超えるものを載せないでください。転倒や破損の恐れがあります。

棚板最大積載質量=30Kg(等分布質量)

* 等分布質量とは……

均等に質量をのせることを意味します。部分的に偏った質量をのせるとバランスが崩れ、落下や転倒の恐れがあります。

設置の際のお願い

下記事項をお守りにならなかった場合には、不具合が生じる場合があります。また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

屋内でのご使用をお願いいたします。

- 屋外や水のかかるところ等では、サビの発生など故障を引き起こす原因となりますので、使用しないでください。

直射日光の当たる場所は、変形や日焼けによる変色の原因になりますので避けてください。

- 窓際などへ設置する場合は、常にカーテンやブラインドなどで直射日光を遮るようにしてください。

高温や湿気、乾燥の著しい場所は、変形や変色、カビの原因になりますので避けてください。

ストーブ・エアコンなどの熱が直接当たる場所は、変形や変色の原因になりますので避けてください。

水平を保つように設置してください。

- 設置するときは、必ず本体を水平を保つようにしてください。水平が保たれない状態で設置しますと、本体の歪み、可動部の不良の原因になります。
- アジャスターにより、床面と水平を保つように調整してください。

適切な換気の励行に関するお願い

- 購入当初は、化学物質の発散が多いことがあります。しばらくの間は、換気や通風を十分行なうようにしてください。
- 室内が著しく高温多湿となる場合(温度28℃、相対湿度50%超が目安)には、窓を閉め切らないようにしてください。

末永くお使いいただくためのお願い

下記事項をお守りにならなかった場合には、不具合が生じる場合があります。また、その場合の責任は弊社としては負いかねます。

ご使用上の注意とメンテナンスについて

- 使用中にボルトやネジの緩みによるガタツキが生じた時は、必ず増締めをしてください。
- 刃物等の鋭利な物を天板上で直接ご使用にならないでください。傷・破損の原因となります。
- 直接熱いものを置かないでください。コゲ跡がつく場合があります。
- 湯気が当たる場所での使用は避けてください。サビの原因となります。
- 水に濡れた時は、乾いた柔らかい布で拭き取ってください。
- お茶・コーヒー・洗剤・薬品などをこぼした場合は、すぐに拭き取ってください。
- この組立・取扱説明書をいつでも取り出せるよう大切に保管してください。
- こまめに、メンテナンスしながらお使いいただくのが製品を長持ちさせる秘訣です。保証期間終了後は早めに点検と修理(有償)を弊社にご用命ください。

お手入れについて

日常のお手入れ

- 日常のお手入れは、必ず乾いた柔らかい布で行なってください。

お手入れの際のご注意

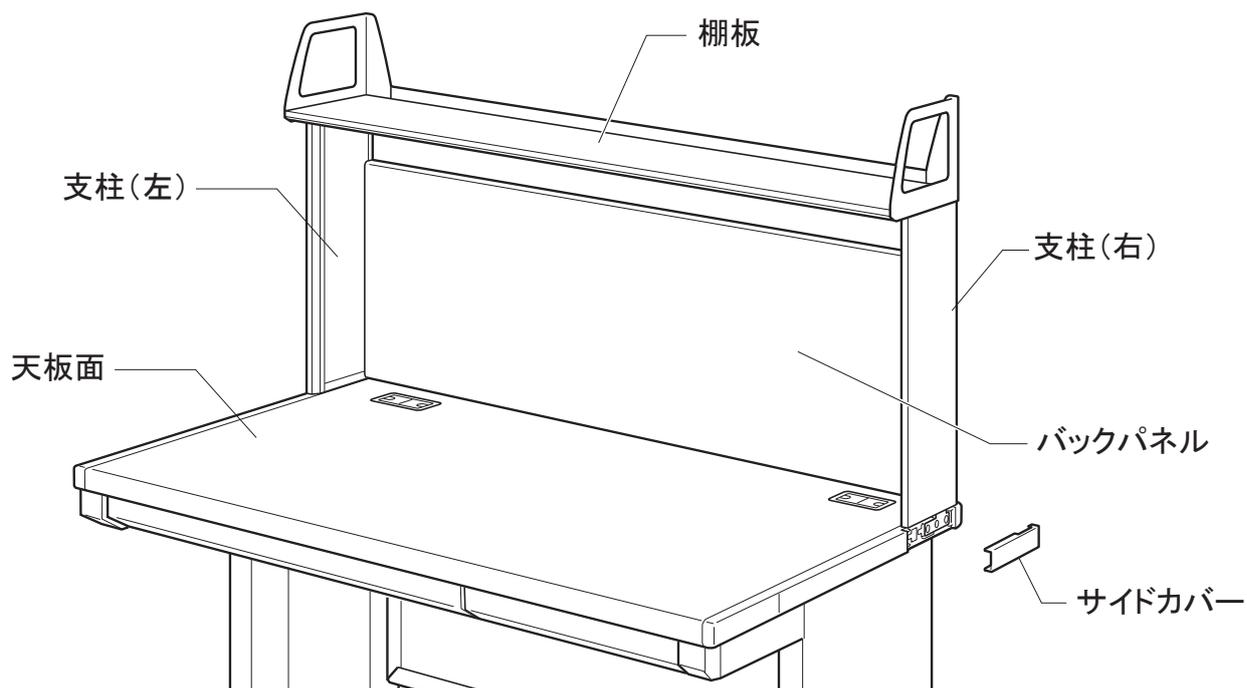
- 市販のクリーナーなどをご使用の際は目立たない部分で変色などが無いことを確認してからご利用ください。

著しく汚れた場合のお手入れ

- 柔らかい布をうすめた中性洗剤溶液(1~3%)に濡らし、堅く絞ってよく汚れを拭き取ってください。その後、洗剤が残らないように乾いた柔らかい布で乾拭きしてください。

各部の名称

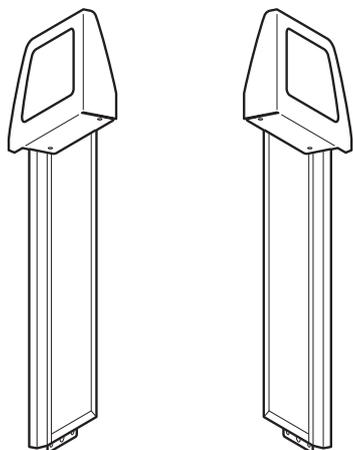
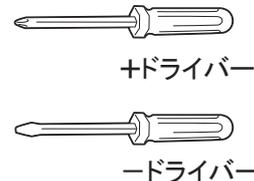
図は、デスクトップシェルフW1200●8VDS2Zの組み立てが完了した状態です。



部品明細

組み立てをはじめる前に、下の部品が揃っているか確認してください。

組み立てに必要な道具



◆支柱(左)×1 ◆支柱(右)×1

A × 4
◆十字穴付皿小ネジ(M6-20)

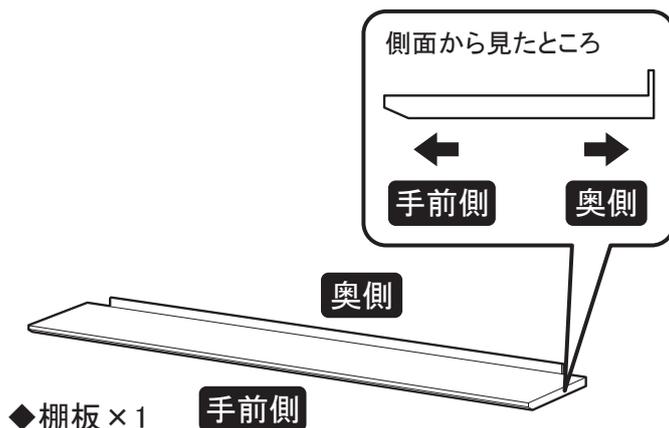
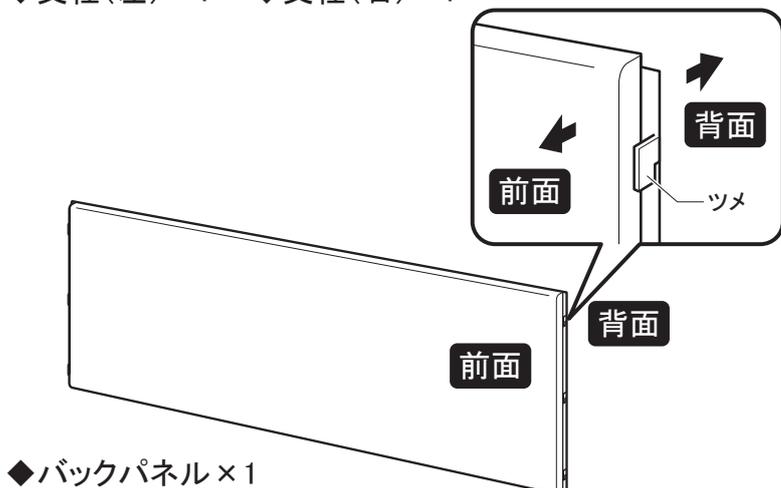
B × 4
◆特殊ネジ(M6-L10)

転倒防止用金具部品明細

◆特殊ネジ(M6-L10)×2

◆ナット×2

◆スパナ×1

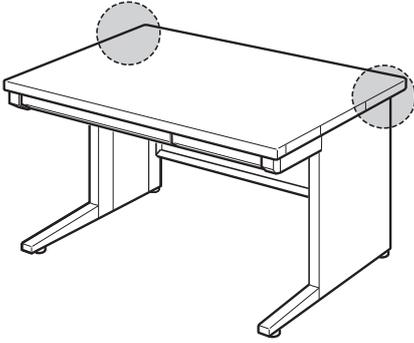


組立方法

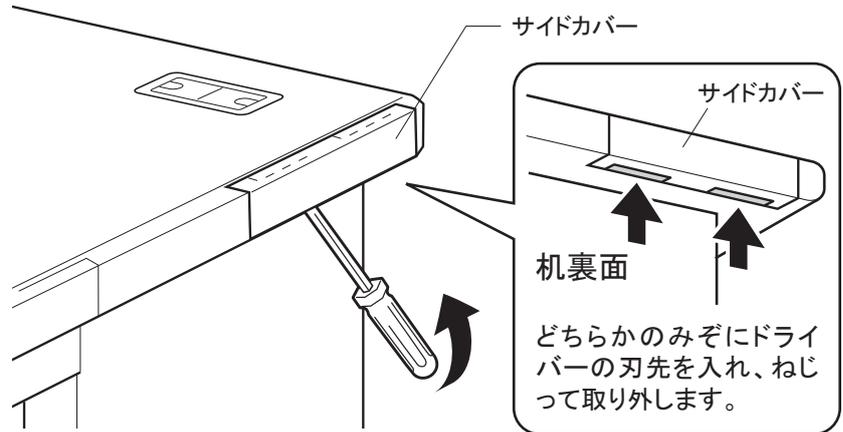
⚠ 組立上のご注意

下記の組立方法をよくお読みのうえ、二人で平らなところで組み立ててください。組立部品を残さず使用し、ねじは確実に締め、正しく組み立ててください。組立てが不完全ですと転倒事故や破損の原因となり、危険です。

1 天板側面にシェルフの支柱を取り付ける

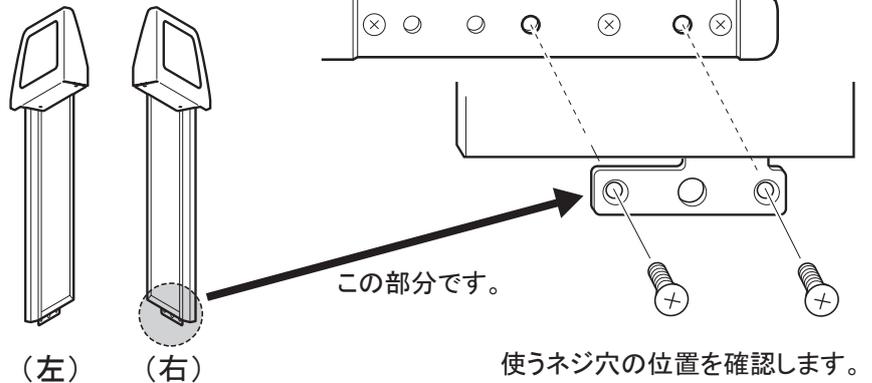


① 天板のサイドカバーを、ードライバー等を使って外します。 (左右2カ所) 図は机右側です。



② 支柱を取り付ける位置を確認します。

支柱の左右を確認します。



ネジ **A** × 4

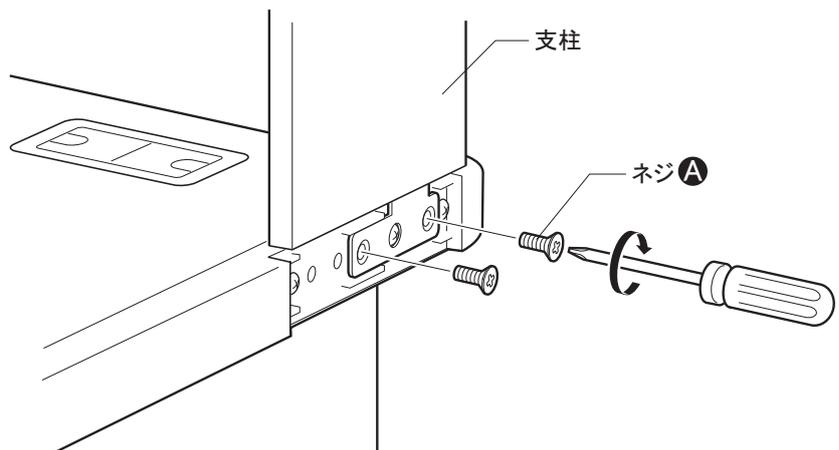
⚠ 注意

②のイラストを確認の上、必ず正しい方向の支柱を正しい位置のネジ穴に取り付けてください。

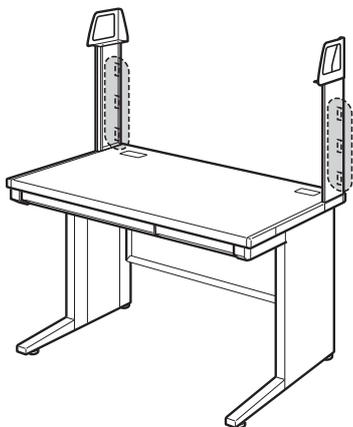


Point! 仮止めとは
ネジを最後まで締め込まないでゆるく締めておくことです。ゆがんだまま組まれていくと、あとでビスが入りにくくなるのを防ぎます。

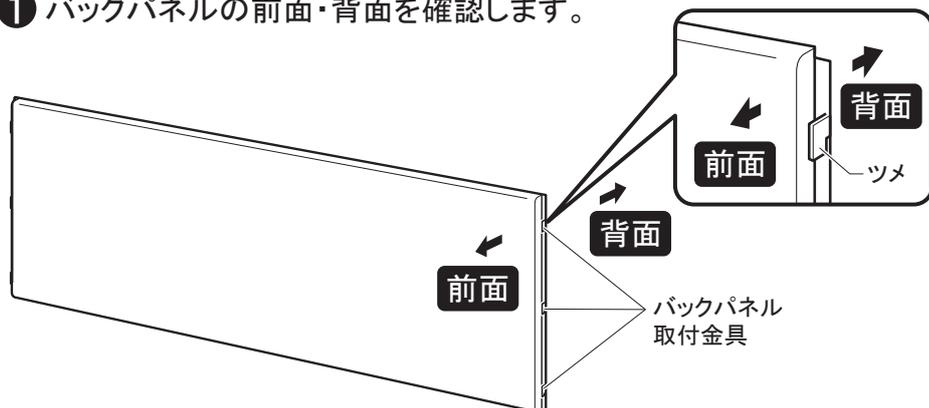
③ ネジ **A** でシェルフの支柱を天板側面に仮止めします。 (左右2カ所ずつ)



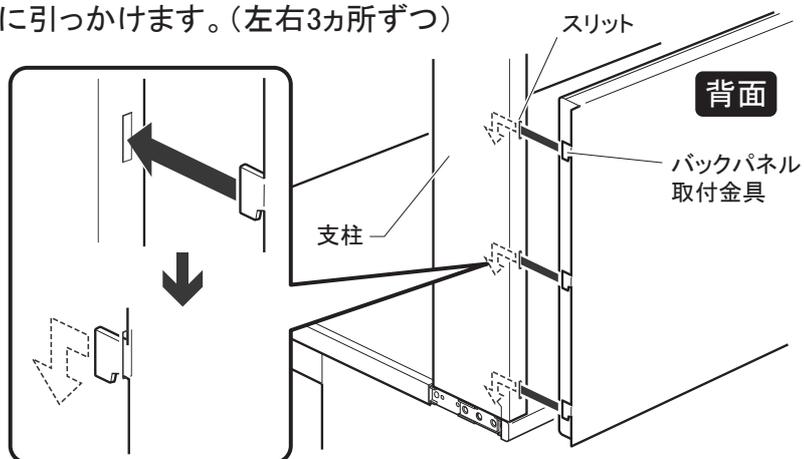
2 バックパネルを取り付ける



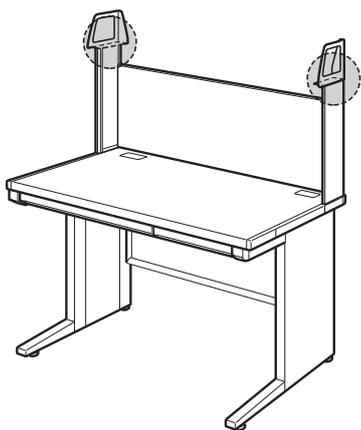
① バックパネルの前面・背面を確認します。



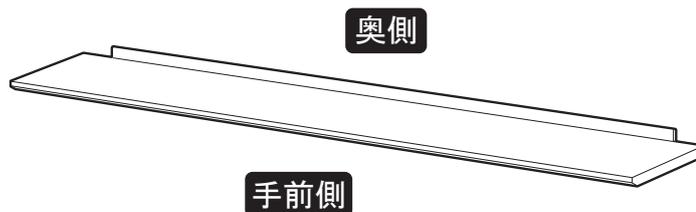
② 支柱の後ろからバックパネル取付金具を支柱のスリットに引っかけます。(左右3カ所ずつ)



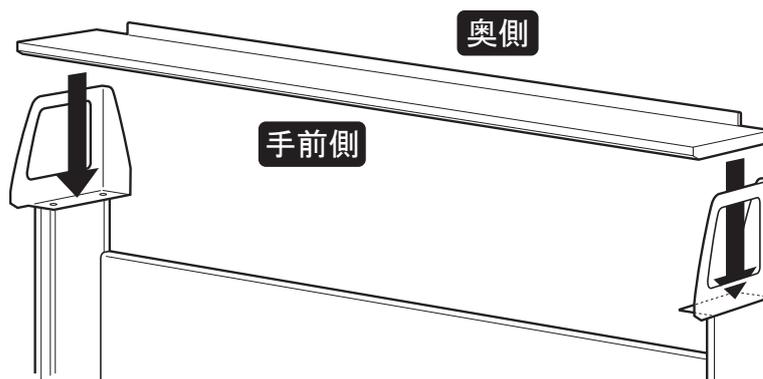
3 棚板を取り付ける

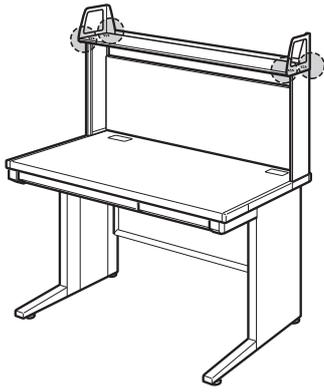


① 棚板の上下・前後を確認します。



② 棚板を棚板受けに載せます。

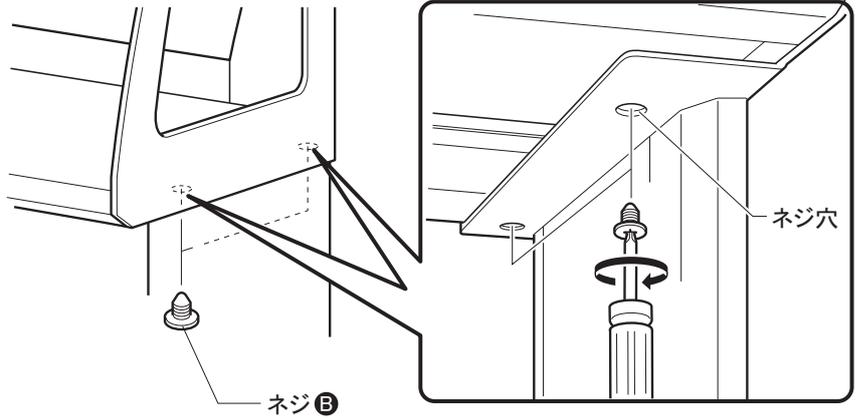




ネジ B

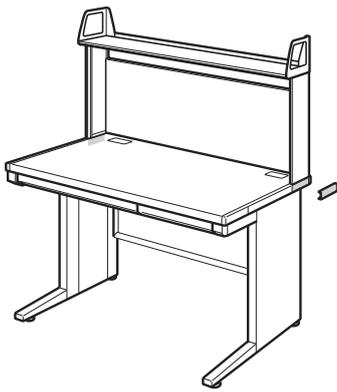


③ ネジ B で棚板受けと棚板を固定します。(左右2カ所ずつ)



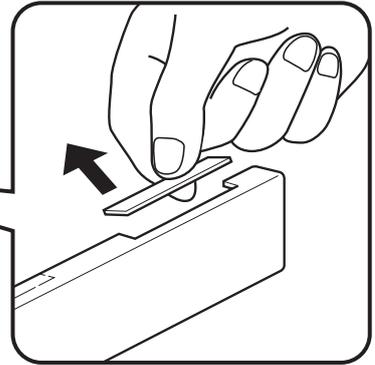
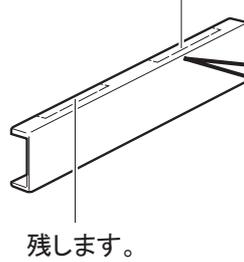
最後に支柱、棚板のネジをすべてしっかりと締め込んでください。

4 サイドカバーを取り付ける

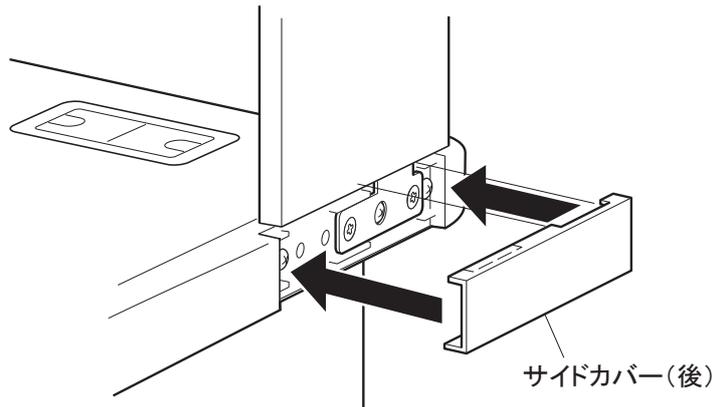


① サイドカバーの図の部分を手で折り取ります。

支柱と当たる部分なので、必ず折り取ります。



② 図のように、サイドカバーを取り付けます。(左右2カ所)



これでデスクトップシェルフの組立ては終了です。

主な材質と表面仕上げ

部 位		主な材質	表面仕上げ
支柱・棚板・バックパネル		スチール	メラミン焼付塗装
パネル (布張りタイプ)	張地	布 ポリエステル100%	—
	芯材	インシュレーションボード	—
		MDF	—

※ 製品の仕様については、改良のため予告なく変更を行なう場合もありますのでご了承ください。

保証の明細

保証には、購入履歴(購入年月日・購入者名・販売店名)を提示いただく必要があります。
領収書など購入履歴が分かるものを大切に保管し、修理はお買い上げの販売店にお申し付けください。

【保証する項目について】

この製品の保証期間は、一般社団法人日本オフィス家具協会(JOIFA)の「オフィス家具-製品安全基準のガイドライン」に基づいております。特別な定めがある場合以外、通常の状態で使用された場合、3つの種別ごとに(お客様ご購入の日から)1年・2年・3年としております。

外観・表面仕上げ	塗装および樹脂部品の変・褪色、レザー・クロスの摩耗	1年
機構部・可動部	引出し・スライド機構、扉の開閉、錠前、昇降機構等の故障	2年
構造体	強度・構造体にかかわる破損	3年 ※1

※1 一部の製品では、構造体の保証を8年としているものがあります。

注)上記の保証期間は、一般のオフィスにおいて、通常の執務状態(1日8時間程度)で使用した場合を想定して定めたもので、24時間、年中無休での業務や、これに準ずる過酷な使われ方をする所(消防・警察・鉄道・各業種の監視室・警備室・新聞社・TV局・学生寮・病院等)での保証期間ではございません。

家具の無償保証は一般的に、通常の補修(メンテナンス)が行なわれていることが前提となります。

※ 保証期間中の製品不具合については、部品の交換等の修理にて対応させていただきます。

※ 保証期間経過後の修理は、有料にて承ります。(経過後の点検・修理は、製品を保有される方に実施責任があります。)

※ 保証期間内でも、次の場合は有料となります。

- ・購入履歴(購入年月日・購入者名・販売店名)を提示いただけない場合。
- ・製品コードラベルの剥離、汚損などにより、型式、ロット等の識別ができないもの。
- ・弊社発行の説明書に従って組み立てていない製品の故障及び破損。
- ・弊社発行の取扱説明書・商品添付ラベル等に従って使用されていない製品の故障または破損。
- ・使用方法において、お客様の過失が認められる場合。
- ・中古品・譲渡品・個人売買品、及び購入日、購入先が不明な商品の故障または破損。
- ・消耗品(キャスター・肘パッド脚端及びフェルト・電池・電球・バッテリー等)
- ・異常な環境下(高温・多湿・著しい温度変化等)での使用、保管による故障または破損。

- ・天然材料(木・革・その他)における色目、木目・節・しわ・傷等の質感の違い。
- ・表面素材(張地・樹脂・塗装・その他)における色目・縫い・光沢等の質感の違い。
- ・弊社に責のない外部要因(天災地変・火災・異常電圧等)に起因する故障及び破損。
- ・通常使用により生じる接触や摩耗による変色・褪色・異音・変形・キズ・錆・カビの発生等。
- ・使用時の手垢・埃等の汚れによる仕上げ表面の変化。
- ・可動部の動作音(椅子のリクライニング等)。
- ・日本国以外で使用する場合。(公海上を含む)
- ・設置後の移動による故障及び破損。
- ・お客様の運搬による故障及び破損。

【修理用部品の保有期間について】

製品の製造中止後5年間とさせていただきます。但し、単一部材で構成される製品や、適正な価格、納期でお客様に供給できない部品は、除外させていただきます。

JOIFA標準使用期間について

日本オフィス家具協会(JOIFA)では、消費生活用製品安全法の主旨に合わせ、一定の使用条件で、安全上支障なく、ご使用できる期間として、自主的に『JOIFA標準使用期間』を設定しました。
この期間は注意を喚起することが目的で、製品の無償保証期間ではありません。通常、JOIFA標準使用期間を過ぎると、摩耗や経年変化による故障が増大することが考えられます。

その場合には、点検・整備や部品交換で継続使用していただくか、ご使用に耐えない場合には買い替えをお勧めさせていただきます場合もあります。

詳しくは、日本オフィス家具協会(JOIFA)ホームページを、ご覧ください。

<http://www.joifa.or.jp>

製品の廃棄について

不要となった製品の廃棄は、法令によりお客様が適切に処理する責任があります。

廃棄の際は、法令に従った適切な廃棄処理をお願いします。

廃棄に関するご質問は、管轄する地方自治体に、お問合せください。

VILLAGE

株式会社オカムラ

横浜市西区北幸 1-4-1 天理ビル

<http://okamura.co.jp>

修理に関するご用命は

オカムラサポートアンドサービス

フリーダイヤル ☎ 0120-448-105

受付時間 24 時間受付 (無休)

製品に関するご質問は

お客様相談室

フリーダイヤル ☎ 0120-81-9060

受付時間 9:00-17:00 (土・日・祝日を除く)

お問い合わせの際、あらかじめ製品番号をご確認いただくと、ご案内がスムーズです。

9D6376/2021-11